

令和5年度 学校経営ビジョン

学校教育目標

幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、個に応じた適切な指導及び支援を行い、そのもてる力を高めるとともに、学習上又は生活上の困難を改善・克服することによって、積極的に社会参加し、自立生活を営むことができる心豊かな人間の育成を目指す。

校 訓

のぞみ高く ねばり強く 誇りを胸に
チャレンジャーであれ

子ども達の夢

保護者の願い

職員の思い

地域の声

幼児児童生徒の「夢や自尊心を育む」ことのできる学校

～高い専門性と正しく確かな人権感覚をもち、チャイルドファーストで支援を行い、
幼児児童生徒一人一人の自立と社会参加を目指し「チームまつばら」で取り組む学校～

重点目標 1

ICT（情報通信技術）を重視した教育：学びを実感する教育の充実

- ① 幼児児童生徒の「強み」を活かし、つきたい力を明確にした授業の実施。
- ② 幼児児童生徒の学びを深め、主体性を引き出せるよう ICT を活用した授業実践の更なる充実を図る。
- ③ 「できた」「分かった」を感じることで授業の工夫改善を行い、学習活動の充実を図る。

重点目標 2

Career（キャリア）を重視した教育：成長を実感する教育の充実

- ① 幼児児童生徒の実態把握を丁寧に行い、将来の自立に向けた教育の充実を図る。
- ② 幼児児童生徒の発達の段階や生活年齢に応じた目標設定を行い、自己肯定感を高め、挑戦する力を育てる教育の推進を図る。
- ③ 進路等に関する情報の提供に努め、幼稚部から高等部までのつながりを意識したキャリア教育の充実を図る。

重点目標 3

Personality（個性、人間性）を重視した教育：さらなる人権教育の充実

- ① 幼児児童生徒ひとりひとりのよさや強み、成長の価値を捉えることができるよう、教職員の感性を磨く。
- ② 教職員が幼児児童生徒のモデルとなるよう、多様性を認め、個を生かした組織づくりを行う。
- ③ 会議等では、建設的な意見を出し合い、互いに高め合える教職員集団をつくる。
- ④ 人権教育に係る研修等を行い、人権教育に関しての情報を家庭と共有し、幼児児童生徒の社会的スキルを高める。